

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和3年3月12日

事業所名 さぼーとせんたーいまあじ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	2	0		
	2	職員の配置数は適切である	1	4	0	・新人スタッフが送迎出来るよう、午前中に運転練習を行い、送迎可能範囲を増やしている。	看護師が他事業所との兼務で0.5の配置となっている。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	4	1	0	・段差なしです	・子ども用のトイレ内の手洗い場が小さい、狭いので広くしたい。（車椅子の利用児の場合、向きを変えて片手ずつ洗うことになってしまう）
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	2	0	・朝のミーティングで今日の活動、子ども達の様子について話し、気をつけたいこと等も話している。	支援後の全体での振り返りは出来ていないが個別での振り返りを行なっている。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	2	3	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1	1		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	4	1	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	0	0	・年4回法人研修がある	
適	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	4	1	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	0	2	3		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	0	0	・リーダー同士で活動内容決めをしている。また、子ども達からのリクエストも取り入れている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5	0	0	・子ども達からの「これやりたい」を取り入れている。 ・1つの活動に対しても2～3通りのやり方も考えている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	2	0		

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
切 な 支 援 の 提 供	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5	0	0	・朝のミーティング時で全員で行っている。 ・途中より出勤してくるスタッフに対して、ホワイトボードに伝えたいことを記入したり、その都度報告している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	1	0		・個別や翌日の朝のミーティング時にはやっているが、支援後に全体ではやっていないのでこれからは時間を設けて行なっていきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5	0	0	・過去の資料がすぐ読めるように書類をまとめている。 ・保護者からの申し送り、本人の気になること等があればその日の記録に残している。また、共有したい内容は日誌に記載し、ミーティングに読み上げている。	
	18	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	0	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	3	2	0		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	0	0		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	5	0	0	・情報を受けたスタッフが他スタッフに伝え、日誌にも記載している。 ・担当1名と決めておらず、その場でやりとりが出来るようにみんなで行なっている。	抜ける事があるのでチェックリスト作成予定。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	5	0	0	・主治医より看護指示書を発行してもらっている。 ・訪問介護、訪問看護と共有ノートを使用し連携をとっている。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	5	0	0		
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	2	3	0		・まだやっていないので、機会があればやりたいと思っています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	3	0		
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	4	1		・公園遊びで関わることもあるが、コロナのこともあり接触控えている。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	0	5	0		・今年度は参加出来ていない。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	5	0	0		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護 者に対してペアレント・トレーニング等の支 援を行っている	2	3	0	・事業所内に貼り出している。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等につい て丁寧な説明を行っている	5	0	0	・カウンター上に貼り出してい る。 ・帰りのお迎え時に子どもの様 子を伝えている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5	0	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を 開催する等により、保護者同士の連携を支援 している	0	4	1		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の 体制を整備するとともに、子どもや保護者に 周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に 対応している	5	0	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予 定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対 して発信している	0	3	2	・帰りのお迎え時に子どもの様 子、学校からの申し送りを伝え ている。	・今年度はおたより発行出来て いない。次年度からは毎月発行 出来るようにしています。 ・保護者会も開催出来ていない が、帰りのお迎え時に保護者同 士よく会話している。
	35	個人情報に十分注意している	5	0	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通 や情報伝達のための配慮をしている	5	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に 開かれた事業運営を図っている	0	3	2		・コロナの件があり、他児との 接触を控え今年度はなし。
非 常 時 等 の 対 応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感 染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者 に周知している	4	1	0	・発作持ちの子がいる時は、そ の日の朝に対応するスタッフを 確認し、ホワイトボードに貼り 出している。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出 その他必要な訓練を行っている	4	1	0		
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保 する等、適切な対応をしている	5	0	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行う かについて、組織的に決定し、子どもや保護 者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放 課後等デイサービス計画に記載している	2	3	0		
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師 の指示書に基づく対応がされている	4	1	0	・アレルギー持ち子の一覧表を 冷蔵庫に張り出している。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共 有している	2	3	0		